

野菜の需給・価格動向レポート(平成25年1月8日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	12月の価格動向			生育及び価格の1月の見通し			
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額					
	上旬	中旬	下旬				
葉茎菜	キャベツ	66.3	57	78	85	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：13,234t (100) 主産地：愛知(53)、千葉(25)、神奈川(15) 	<ul style="list-style-type: none"> 愛知産は、順調な出荷で前年より多めの出荷となっているものの、最近の低温と少雨の影響により今後は出荷量が減少する見込み。千葉産は、最近の低温の影響で生育が停滞し小玉傾向で少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。 千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		69.92	54	76	78	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：3,600t (104) 主産地：愛知(50)、大阪(10)、和歌山(9)、佐賀(7)、三重(6)、兵庫(6)、鹿児島(6) 	
	ねぎ	218.22	240	244	268	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込数量：5,029t (98) 主産地：千葉(35)、埼玉(25)、茨城(17)、群馬(11)、輸入(3) 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉産は、細物中心で平年より少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。埼玉産は、低温のために生育が遅れていたが、中旬より出荷量が増加する見込み。茨城産は、平年並みの出荷の見込み。 千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		314.62	321	364	420	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込数量：580t (80) 主産地：群馬(26)、鳥取(20)、埼玉(16)、静岡(11)、大分(9) 	
	はくさい	36.65	37	46	51	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：13,303t (100) 主産地：茨城(84)、群馬(9) 	<ul style="list-style-type: none"> 茨城産は、最近の低温の影響により生育が停滞し小玉傾向で少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。 少なめの出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年をやや上回って推移する見込み。
		53.29	56	62	66	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：4,100t (105) 主産地：愛知(32)、茨城(22)、宮崎(13)、和歌山(11)、岡山(7)、熊本(6) 	
	ほうれんそう	350.1	584	631	653	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：1,315t (101) 主産地：群馬(35)、千葉(19)、茨城(19)、埼玉(17) 	<ul style="list-style-type: none"> 群馬産は、年明け後の天候に恵まれたことにより出荷量が増加し、今後は平年を上回る出荷となる見込み。千葉産は、最近の低温の影響で少なめの出荷となり、今後も少なめの見込み。茨城産及び埼玉産は、生育が回復し、平年並みの出荷の見込み。 群馬産の出荷量の増加が見込まれることから、平年を大幅に上回っている価格は、落ち着いてくるものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		416.76	576	652	570	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：550t (110) 主産地：徳島(47)、福岡(26)、群馬(15) 	
	レタス	233.85	249	362	357	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：6,854t (96) 主産地：静岡(36)、香川(15)、兵庫(13)、熊本(8)、千葉(6)、福岡(4) 	<ul style="list-style-type: none"> 静岡産は、低温の影響で小玉傾向で少なめの出荷となっており、今後も月末までは少なめの出荷の見込み。香川産も、小玉傾向の出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。兵庫産は、遅れていたものと通常の作型のものの出荷が重なったことで平年並みの出荷となっているものの、中旬からは減少する見込み。 少なめの出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		226.75	252	331	346	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：1,050t (109) 主産地：兵庫(58)、徳島(22)、香川(8)、熊本(6) 	
たまねぎ		76.15	65	67	68	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：9,407t (105) 主産地：北海道(87)、輸入(9) 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道産は、作柄良好で前年を上回る出荷となっている。今後も平年並みの出荷の見込み。 順調な出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。
		76.15	70	73	77	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：3,600t (106) 主産地：北海道(60)、兵庫(34) 	
果菜	きゅうり	370.98	484	507	506	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：4,915t (100) 主産地：宮崎(40)、高知(21)、千葉(20)、茨城(6)、埼玉(6) 	<ul style="list-style-type: none"> 宮崎産は、多めの出荷となっているものの、中旬以降は減少し平年並みの出荷となる見込み。高知産は、最近の低温、降雪の影響により少なめの出荷となっており、今後はやや増加するものの前年には届かない見込み。千葉産は、少なめの出荷の見込み。 高知産及び千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		350.33	466	491	490	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：1,100t (107) 主産地：宮崎(47)、高知(22)、徳島(20)、愛媛(7) 	
	トマト	332.69	482	478	473	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：4,625t (100) 主産地：熊本(43)、愛知(19)、栃木(11)、静岡(6)、千葉(5)、宮崎(4) 	<ul style="list-style-type: none"> 熊本産は、低温の影響で生育に遅れはあるものの、平年並みの出荷となり、今後も平年並みの出荷の見込み。愛知産も、平年並みの出荷の見込み。 順調な出荷が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。
		311.06	453	457	448	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：890t (105) 主産地：熊本(63)、愛知(12)、福岡(10) 	
	なす	389.03	433	449	441	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：1,883t (100) 主産地：高知(64)、福岡(18)、佐賀(6) 	<ul style="list-style-type: none"> 高知産は、最近の低温、降雪の影響で生育が鈍っているが、今後は天候の回復とともに生育が回復する見込み。福岡産も、低温の影響で少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。 高知産の出荷量の回復が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。
		397.74	447	450	462	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：290t (104) 主産地：高知(38)、熊本(29)、福岡(15)、岡山(13) 	
	ピーマン	344.39	312	506	549	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：1,223t (100) 主産地：宮崎(46)、高知(24)、鹿児島(18)、茨城(12) 	<ul style="list-style-type: none"> 宮崎産は、多めの出荷となっているものの、中旬以降は減少し平年並みの出荷となる見込み。高知産は、平年並みの出荷の見込み。鹿児島産は、天候の回復により、中旬から出荷量が増加する見込み。茨城産は、出荷量が少ない時期であるが、平年並みの出荷の見込み。 順調な出荷が見込まれることから、平年を上回って推移している価格は、平年並みに近づく見込み。
		353.61	305	486	533	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：300t (100) 主産地：宮崎(65)、高知(23)、鹿児島(9) 	
根菜	だいこん	64.33	64	72	90	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：12,213t (100) 主産地：神奈川(57)、千葉(36) 	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川産は、低温の影響で生育が停滞し細物中心となり、少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。千葉産は、低温の影響で生育が停滞し、少なめの出荷の見込み。 少なめの出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		76.48	68	77	92	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：3,300t (100) 主産地：長崎(31)、鹿児島(27)、徳島(20)、和歌山(17) 	
	にんじん	100.82	105	111	130	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：6,434t (95) 主産地：千葉(83)、埼玉(10)、茨城(4)、輸入(2) 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉産は、低温の影響で生育が停滞し小ぶりで少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。埼玉産も、少なめの出荷の見込み。 少なめの出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		104.49	98	115	164	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：2,000t (100) 主産地：長崎(39)、鹿児島(24)、千葉(15)、鳥取(13) 	

種類		12月の価格動向			生育及び価格の1月の見通し					
		(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格		指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額						
		上旬	中旬	下旬						
いも	さといも	200.88	210	246	257	・入荷見込量：793t (100) ・主産地：埼玉 (42)、千葉 (25)、輸入 (10)	・埼玉産及び千葉産は、平年並みの出荷の見込み。 ・年末需要も落ち着き順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。			
		207.2	199	212	254	・入荷見込量：245t (-) ・主産地：千葉 (29)、愛媛 (25)、宮崎 (23)、熊本 (10)、輸入 (9)、大分 (3)				
	ばれいしょ	88.17	86	89	92	・入荷見込量：9,021t (105) ・主産地：北海道 (63)、長崎 (26)	・北海道産は、引き続き安定した出荷となっている。今後も平年並みの出荷の見込み。 ・長崎産は、順調な生育で大玉傾向となり、平年並みの出荷の見込み。			
		88.17	84	86	90	・入荷見込量：3,700t (95) ・主産地：北海道 (55)、長崎 (34)、鹿児島 (10)	・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。			

1) 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)。

2) ブル平均販売価額の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景色は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)。

3) 単位は円/k g、上段は関東、下段は近畿ブロック。

4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の人荷量と価格の見通し」による。() 内は前年対比。

5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。() 内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。

6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、11月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、5,039gで前年比99%、購入金額は、1,602円で同99%となり、購入数量、購入金額ともに前年並みだった。	生鮮野菜の購入数量及び金額(1人当たりの購入数量と金額)						主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移(単位:円/k g)					
	年	過去5か年平均	平成23年		平成24年		過去5か年平均	平成24年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成24年	5か年比(%)
		購入数量(g)	金額(円)	購入数量(g)	金額(円)	購入数量(g)	前年比	金額(円)	前年比	購入数量(g)	平成24年	5か年比(%)
1月	4,263	1,528	4,310	1,573	4,189	97	1,634	104	1月	166	230	138
2月	4,403	1,552	4,267	1,629	4,499	105	1,735	107	2月	177	247	140
3月	4,815	1,721	4,867	1,788	4,584	94	1,851	104	3月	188	238	126
4月	4,779	1,812	4,796	1,789	4,620	96	1,904	106	4月	238	262	110
5月	5,109	1,894	5,171	1,820	4,945	96	1,948	107	5月	172	196	114
6月	5,043	1,872	4,904	1,857	5,103	104	1,875	101	6月	144	127	88
7月	4,441	1,696	4,362	1,759	4,386	101	1,675	95	7月	160	119	75
8月	4,348	1,719	4,392	1,717	4,245	97	1,618	94	8月	156	111	71
9月	4,831	1,804	4,598	1,803	4,916	107	1,703	94	9月	155	101	65
10月	5,262	1,862	5,037	1,884	5,242	104	1,761	93	10月	161	101	63
11月	5,016	1,636	5,091	1,613	5,039	99	1,602	99	11月	162	103	64
12月	5,145	1,834	4,998	1,792	0	0	0	0	12月	153	119	78

資料:総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」

1) 過去5か年は平成19~23年の平均。

2) 平成24年12月の値は、12月中旬の速報値。

資料:総務省「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

11月の輸入を貿易統計で見ると、生鮮野菜は、前年比92%の6万3千トン、加工野菜は、同111%の17万4千トン、野菜全体では、同105%の23万7千トン、うち中国産は、同103%の12万4千トンとなつた。生鮮野菜は前年をかなり下回つたが、加工野菜がかなり上回つたことから、野菜全体ではやや上回つた。	野菜の輸入数量の推移						主な野菜の輸入動向						
	区分	平成22年		平成23年		平成24年1~11月		平成24年11月		品目	輸入先	(単位:トン、%)	
		前年比	前年比	前年比	前年比	前年同期比	前年同期比	前年同月比	前年同月比			平成23年11月(A)	平成24年11月(B)
生鮮野菜	820,687	133	915,091	112	874,650	105	63,378	92	たまねぎ	合計	32,663	23,685	73
加工野菜	1,677,840	107	1,803,510	107	1,742,425	107	173,954	111	中国		22,292	18,150	81
野菜合計	2,498,527	114	2,718,600	109	2,617,075	106	237,332	105	アメリカ		10,371	5,534	53
うち中国産野菜合計	1,284,449	117	1,409,984	110	1,333,052	105	124,097	103	にんじん	合計	3,912	4,524	116
中国産シェア	51		52		51		52		中国		3,780	4,325	114

資料:ベジ探 (原資料) 財務省「貿易統計」

資料:農林水産省「植物防疫統計」。平成24年11月は、速報値である。

4 トピック — おせち料理等に使われている主な野菜の自給率について—

